

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

団体名	美馬市
担当者名	長寿・障がい福祉課 前田 実知代
連絡先	0883-52-5613

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
(記載例) 旧小学校区ごとにサロン活動を展開する。	後期高齢者の増加に伴い、認定者の増加も見込まれるため、介護予防が重要と考える。徒歩で通える拠点を整備することにより、地域活動を広げ、介護予防につなげていく。		目標	80箇所	90箇所	100箇所	7地区で、サロン開設に向けた説明会を開催した。	△	コロナの影響もあり、目標は未達成であるものの、前年度と比べ5箇所増加し、これらの地域では、いきいき百歳体操などが行われている。他地区との交流を進めるほか、サロン活動運営の簡素化などにも取り組む。
		60箇所	実績	65箇所					
いきいき百歳体操	いきいき百歳体操による通いの場を継続し、体力の維持向上を図ることで介護予防を推進している。地域活動を広げ、介護予防につなげていくために徒歩で通える拠点を整備することを考慮して目標設定した。		目標	26箇所 338人	27箇所 351人	28箇所 364人	新規に3箇所開設し、合計28箇所になったが新型コロナの影響で5箇所が休止中である。	△	目標は達成したものの新型コロナの影響もあり、5箇所が休止中。今後も地域での住民主体の活動を推進していくためにも介護サポーターとして活躍できる人材の育成に努める。また、参加促進のためのアウトリーチとして対象者の抽出や訪問等の取組を検討していく。
		25箇所 376人	実績	28箇所 381人					
運動機能向上介護予防教室	プールを利用した水中運動と家庭や地域でできる自主運動を含む運動プログラムを実施。市内にある2箇所のプール施設での開催を考慮して、目標設定した。		目標	2箇所 30人	1箇所 30人	1箇所 30人	プールを利用した運動教室を週1回90分、3~6ヶ月間実施。運動機能評価と基本チェックリストにおいて維持改善が認められた。また、普及啓発の工夫により、前年度と比較すると参加実人数40人と増加し、継続率も95%と高かった。	○	参加者の95%が継続して参加することができた。今後も参加者確保のため、関係機関と連携した幅広い周知が必要である。
		2箇所 29人	実績	2箇所 40人					

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
健康教室	より多くの高齢者が参加しやすいよう通いの場を利用し、保健師による認知症予防、栄養改善、口腔機能の向上などの介護予防に関する健康教室を開催した。通いの場の開催状況を考慮して目標設定した。	/	目標	10回 350人	10回 350人	10回 350人	通いの場の代表者に案内を行い、希望のあった通いの場に保健師が出向いてフレイル予防などに関する健康教室を開催した。	△	目標は達成したものの新型コロナの影響もあり、全ての通いの場での開催はできなかった。今後も関係機関と連携し、周知していく。
			実績	11回 231人	18回 287人	/			
リハビリテーション専門職が 参加した地域ケア個別会議	介護予防のための地域ケア個別会議にリハビリテーション専門職等に参加してもらい、自立及び介護予防に向けた専門的な助言を受ける。リハビリテーション等専門職の確保を考慮して目標設定した。	/	目標	6回 18件	6回 18件	6回 18件	介護予防のための地域ケア個別会議に市内の医療機関・介護事業所の理学療法士・作業療法士に参加してもらい、年度内に6回開催し、17件助言を受けた。1件あたりの所要時間は40分。	○	今後も引き続き、地域ケア個別会議を計画的に開催することにより、地域における介護予防の強化を図っていく。
			実績	6回 19件	6回 17件	/			

※ 行数が不足する場合等は、適宜追加してください。